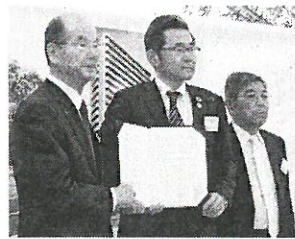




●分譲マンションを水害時避難ビルに、大阪市とリバー産業協定 大阪市は19日、リバー産業の分譲マンション「リバーガーデン我孫子前」(住吉区)を水害時に避難ビルとする協定を結んだ。同区内の分譲マンションでは初の水害時避難ビルで、災害時には一時的な避難場所として共用部分の一部を開放、敷地内に備える備蓄倉庫などを使えるようにする。

この日行われた締結式—写真—では、同区の朝川晋区長



が「住吉区は大和川に近接しており、氾濫に対する

備えが最重要課題。協定の申し出をうれしく思っている」と話すと、同社の河啓一社長は「地域の住民に喜んでもらえるまちづくりを考えている。防災、緑、情緒豊かな環境を大事にしたい」と述べた。

マンションは地上20階建て。同社によると、同区で最高層のマンションで、敷地内には約1千平方メートルの緑地に庭園を造り、樹木やハーブなどの植栽で景観や香りを演出する。全104戸で、令和(れいわ)2(2020)年11月入居予定。